

卒業生  
Voice

自分に合う職業を見つけること。  
それが就職活動の第一歩です。

株式会社大和螺子入社  
張 衡さん  
経済学部経済学科卒業  
吉林大学出身

自分で考え働くこと。それが自信となり  
夢を掴む原動力になります。

大阪市消防局入局  
川瀬 航平さん  
法学部法律学科卒業  
大阪市立桜宮高等学校出身

本学は成長できる環境と仲間が揃う  
“夢を叶えられる場所”です。

和歌山県警察入職  
高宮 雄さん  
法学部法律学科卒業  
私立浪速高等学校出身

好きなことには全力で！ そこで得た  
経験は就職活動でも役立ちます。

株式会社ニトリ入社  
吉村 達也さん  
法学部法律学科卒業  
大阪府立吹田東高等学校出身

何事も努力すれば結果がついてくる！  
失敗を恐れず果敢に挑戦を。

法務省入国管理局入省  
富野 修登さん  
法学部法律学科卒業  
大阪府立東淀川高等学校出身

人との絆を感じた4年間。留学生も  
学内の活動に積極的に参加しよう。

上海細田食品機械有限公司入社  
余 炎宏さん  
経済学部経済学科卒業  
上海工商外国语职业学院出身

厳しい部活で培った精神力は  
就職後も自分の強みになると思います。

大阪府警察入職  
谷口 凌太郎さん  
法学部法律学科卒業  
大阪府立淀川工科高等学校出身

就職活動を通して自己表現行動し  
改善する力が身に付きました。

株式会社カーチスホールディングス入社  
繆 勇香さん  
経済学部経済学科卒業  
天津職工經濟技術大学出身

4年間は苦手なことにもあえて挑戦を。  
努力が自信につながります。

エビス株式会社入社  
蓬野 未歩さん  
経済学部経済学科卒業  
京都府立久御山高等学校出身

留学経験は大きな成長のチャンス。  
皆さんもぜひ制度を利用しよう。

株式会社パル入社  
佐野 楓さん  
法学部法律学科卒業  
大阪府立佐野高等学校出身

3月18日、第43回目の卒業式が行われました。今年の卒業生は547名。  
それぞれが熱い思いを胸に、夢の実現に向けて大きな一歩を踏み出しました。  
その中から後輩のサポートを務めてくれた23人にメッセージをもらいました。

# 夢に向かって 全力で駆け抜けた4年間。



左から 山下 智生さん 吉本 優子さん 飯西 亮太さん

就職活動に“早すぎる”はありません。  
1年生から意識した行動を。

大和ハウス工業株式会社入社  
中川 唯さん  
法学部法律学科卒業  
私立大阪学芸高等学校出身

大学は自由度が高い分、責任感を持った行動が大切です。

株式会社ミス・パリ入社  
津田 鮎実さん  
経済学部経済学科卒業  
私立飛鳥未来高等学校出身

何事にも挑戦してください。  
成功も挫折も全て成長につながります。

株式会社紅中入社  
石井 千晶さん  
経済学部経済学科卒業  
大阪府立みどり清朋高等学校出身

部活動で得た仲間と経験が  
4年間の宝です。何事も全力で楽しんで！

四国アルフレッサ株式会社入社  
川染 拓樹さん  
経済学部経済学科卒業  
愛媛県立松山商業高等学校出身

人をつなぎ個性を生かすことを  
学んだ部活動。貴重な成長の場でした。

大阪府警察入職  
山崎 哲弥さん  
法学部法律学科卒業  
島根県立大社高等学校出身

自分に合う進路や企業は必ずあります。  
まずは自身を知ることから。

株式会社栄光堂セレモニーユニオン入社  
吉本 優子さん  
経済学部経済学科卒業  
大阪府立長野高等学校出身



後列左から 張衡さん 川瀬航平さん 高宮雄さん 吉村達也さん 富野修登さん 余炎宏さん 谷口凌太郎さん  
中列左から 繆勇香さん 蓬野未歩さん 佐野楓さん 原綾香さん 中川唯さん 津田鮎実さん 石井千晶さん  
前列左から 川染拓樹さん 中林健太さん 岩井啓太さん 尾崎泰希さん 山崎哲弥さん 竹田誠規さん

# 就勝実践Camp

# 希望進路の獲得に向けてスタートダッシュ! 真剣勝負の3日間

2/8  
WED  
就勝実践Camp  
1日目

## 就活ガイダンス①面接対策

いよいよ就勝実践Campがスタート! スーツに身を包んだ200人を超える3年生が緊張の面持ちで、ホテルコスモスクエア国際交流センターに集合。就職活動の本番直前であることを意識して、まずは面接対策について学びました。面接には集団と個人の2種類があります。集団面接では、相手を理解し、思いを的確に伝えるコミュニケーション能力が求められる一方、個人面接では、大学時代の学びや経験を活用して、いかに企業に貢献できるかが評価のポイントと言えるでしょう。



2/9  
THU  
就勝実践Camp  
2日目

## 面接実践①グループディスカッション

2日目からはより実践的な内容へ。司会、書記など役割を分担しながら3回にわたってグループディスカッションを行います。話し合うテーマは「大手企業と中小企業どちらが良い?」や「ネット依存の影響と改善策」など実際の企業での面接に用いられたものばかりです。終了後、話し合いの姿勢を講師が講評すると、すぐさまアドバイスを取り入れている学生たち。意識の高まりが表情にも表れてきました。



2/10  
FRI  
就勝実践Camp  
3日目

## 面接実践③集団面接

集団面接は、個人面接と違い周囲の存在がさらなる緊張やプレッシャーに繋がります。6人ずつ2組に分かれ、面接を受ける「実践組」とその様子を横から観る「観察組」を経験。両方の立場に立つことで、周囲の視線を感じながら平常心を保つ練習と、客観的な立場から新たな気付きを得るという相乗効果が狙えます。面接後は講師だけでなく観察組からも総評があり、仲間からの指摘がさらにやる気に拍車をかけました。



## 就活ガイダンス②ビジネスマナー対策

「面接は初めの30秒で勝負が決まる」と言われるように、第一印象は採用の合否に大きな影響を与えます。講義は男女別に行われ、表情や言葉遣いなど面接官がチェックするポイントを学びます。

また女子クラスでは女性活躍推進法をもとに結婚・出産を踏まえて働く企業の選び方を紹介。今後の自分のキャリアについて考える機会となりました。

## グループワーク

公務員・民間企業、それぞれ志望する進路ごとに10~12人に分かれてグループワークを行います。課題はパスタとマッシュを使ってタワーを作りその高さを競うというようなゲーム性の高い内容です。成果を出すには全員で情報共有し、アイデアを出し合うチームワークの良さが求められます。課題に取り組むことで徐々に打ち解け、チームとしてのコミュニケーションや積極性について学びました。



## パネルディスカッション

初日の最後を飾ったプログラムは、内定者によるパネルディスカッションです。民間企業が4人、公務員が2人、計6人の4年生が登壇。自身の就職活動を振り返りながら、エントリーした企業の数や自己アピールの伝え方など、就職活動の本番では誰もが知りたい内容について語ってくれました。話を聞く学生の表情は真剣そのもの。それに応えるように登壇者からも熱のこもったメッセージが届けられました。



## SPI性格検査ガイダンス

自分の特性を理解するためのSPI性格検査。これは業種選びの参考になるとともに、自己PRでも役立ちます。講義では、外部講師を迎えて事前に受験した検査結果を元に解説。「自己PRの際、自身の特性を1つにしまらず2つかけ合わせれば周囲と差別化ができる」など、すぐさま取り入れたいアドバイスが次々に飛び出しました。



## 進路獲得決意の集い

就勝実践Campに参加する学生、職員が一堂に会し内定獲得に向けて士気を高めます。さらに個人面接に参加した企業の人事担当者25人や内定を得た4年生18人も参加しており、業界の情報や具体的な対策を直接聞くチャンスです。会場のあちこちで積極的に足を運び挨拶する学生の姿があり、場内は本番に向けて熱気にはに包まれました。

## 業界セミナー

3日間の学びを実践に役立てるための業界セミナーには、さまざまな企業が集まり、広い会場に26つのブースが並びました。金融、観光など業種の多さはもちろんのこと、B to B企業やB to C企業など、業態も多岐にわたり、視野を広げる非常に意味のあるセミナーです。開始早々各ブースに押し寄せた学生達は「新たな業界に興味が湧いてきた」「企業ごとの特性を比較することができた」と興味の幅を広げている様子。昨年末、学内で行われた同セミナーに比べて積極性が表れ、3日間の大きな成長が見られました。



## 大阪経済法科大学×大阪樟蔭女子大学 合同グループディスカッション



## 3月からの本格的スタートに向けた実践の場



### 大阪樟蔭女子大学の学生と合同練習 よりリアルな環境で「本番力」を身に付ける

課題に対してグループで討論し答えを導きだすグループディスカッション。落ち着いて討論に挑むには本番を想定した練習が大切です。2月27日に大阪樟蔭女子大学で行われた当企画には本学から14人と、大阪樟蔭女子大学から18人の合計32人が参加し、グループディスカッションと集団面接の練習が行われました。

今回は、「実施組」と「観察組」が途中で入れ替わる交代制で実施しました。初めて観察する側に立つことで面接官の視点を意識できたよう、「客観的の見ると、課題に対してどう解答するかだけでなく、解答に至るまでの討論の内容やグループの雰囲気も重要だと気付きました」と受講した学生は手応えを語ってくれました。また、この日は男女比がほぼ5:5。集団面接でも大阪樟蔭女子大学の女子学生らの積極的な姿が見られ、男子学生の比率が多い本学の学生にとっては、本番に近い状況を経験することができる実践の場となりました。

## 就勝実践Camp 参加者の声



金光 由哲さん  
経済学部経済学科4年生 大阪府立緑風高等学校出身

就職活動に対してまだ漠然としたイメージしか持てず、「動き出しきかけたい」と思い就勝実践Campに参加しました。そこで、初日の自己紹介で、すでに堂々と自分をアピールする仲間の姿に刺激を受け、一気にやる気が出てきました。

3日間特に意識したことは自己アピールです。例えば、今まで方向性の違う多数の情報を盛り込んでいましたが、それでは印象が曖昧になってしまふと自覚し、テーマを一つにしほってそれを軸に付随する情報を内付けするようになりました。周囲からのアドバイスも含め、就勝実践Campでの学びを就職活動に生かしていきたいです。



### 初対面の人に伝える難しさを実感 日頃から伝える努力を

初日のグループワークでは、話し合いを通して自分にない意見をたくさん聞くことができ、物事にはさまざまな側面があって、いろんな考え方の人がいることに気付きました。それとともに、普段仲良くしている友達なら説明しなくても分かり合えることが、初対面の相手だと思うようにいはず、自分の心にきちんと届くよう、日頃から伝える努力が必要だと思います。

## 自信を得るとともに、 今後の課題も発見



## 自信を得るとともに、 今後の課題も発見

計3回グループディスカッションを行う中で、私の場合、協調性を生かして司会をサポートする役割が向いていると分かり、話し合いに対する自分の取り組み姿勢を見つけることができました。その一方で、「企業が国際的に通用するために必要な条件」などの時事問題がテーマになると、知識がないため消極的になってしまうという問題も、自信を得るとともに課題も自覚できたので、本番に向けて課題解決に取り組みたいです。



### 練習すれば改善できる! その手応えが次のステップに

私はもともと人見知りをするタイプで、個人面接には苦手意識がありました。思った通り、1度目の練習では気持ちが先走って、自分の思いばかりを語ってしまうことに。「会話のキャッチボールは30秒程度に」との指摘を受けました。そこで2度目は、「30秒のキャッチボール」を意識して相手の言葉を咀嚼してから返答すると、少し手応えを得ることができました。練習を重ねねば徐々に身に付いてくることが実感できたので、今後もキャリセンターで継続的に練習しようと思います。



## 経験と知識を増やす 相手が納得できる回答を



## 経験と知識を増やす 相手が納得できる回答を

集団面接は自分の個性を際立たせるため、周囲の発言を開きながら臨機応変に対応する必要があります。私よりもはるかに人生経験が豊かな面接官に「なるほど」と納得してもらう回答をするには、もっといろんな人の話を聞いて見識を増やす、アピール内容を深堀りする必要があると思いました。幸いにも私はゼミを通して地元企業の方々と交流があります。その繋がりを生かし、実際の面接で「あなただからこそ採用したい」と思ってもらえるよう、成長したいです。



## 就勝実践Campで意識が高まった勢いそのままに学内合同業界セミナーへ!



### 62社もの企業が八尾駅前キャンパスに集結!

就職活動向け3年生の意欲が高まる中、2月22日、23日の2日間にわたり第3回となる「学内合同業界セミナー」が開催されました。今回の参加企業は過去2回に比べてはるかに多い62社。当日は八尾駅前キャンパスにズラリとブースが並び、一角にはPOLAメイクアップアドバイスコーナーや履歴書用証明写真撮影コーナーも。学生らは各ブースを積極的に訪ね、担当者から話を聞きました。



### 学外とはここが違う! じっくり話を聞ける環境

複数の企業が集まる同様の業界セミナーは学外でも日々開催されていますが、学内の場合、企業の人事担当者との距離感が近くしっかり話を聞くことができます。しかも今回、前半の約2時間は30分ごとに訪問企業を変える交代制で、後半は制限時間を設げず自由に行き来できるシステムに。参加した学生は「興味のある企業の話をじっくり聞くことができ、インターンシップにも興味が湧きました」と、これから本格化する就職活動に前向きな姿勢を見せました。





## 地域防災活動で活躍する学生消防隊「SAFETY」が出初式に堂々と参加

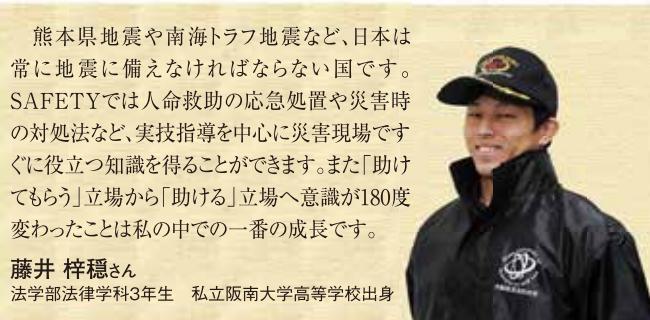


本学は八尾市消防本部と協定を結び、学生による消防支援ボランティアサークル「SAFETY」を発足し、日頃から防災訓練に励んでいます。1月9日には大阪府中部広域防災拠点で行われた「八尾市消防出初式」に参加。消防隊員がヘリコプターからロープをつたって地上に降りるダイナミックなパフォーマンスで式が始まると、消防職・団員に混じってSAFETY隊員も堂々とした行進で入場。消防車両からの一斉放水では、すさまじい勢いで水を放つホースを抱え果敢に訓練に挑みました。現場で活躍する消防隊員から直接指導を受けられる貴重な機会。今年度も新規の隊員を募集しますので、興味のある人はぜひ応募してください。



一斉放水では予想以上に手に負荷がかかり、ホースでの消火作業がいかに重労働かを実感しました。こうした体力の要る救助はもちろんのこと、災害現場では女性ならではの細やかな気配りも必要だと思います。今は女性の力が求められる時代。女子学生の皆さんも積極的に参加してほしいです。

本田 姫奈さん  
法学部法律学科1年生 兵庫県立鳴尾高等学校出身



熊本県地震や南海トラフ地震など、日本は常に地震に備えなければならない国です。SAFETYでは人命救助の応急処置や災害時の対処法など、実技指導を中心に災害現場で役立つ知識を得ることができます。また「助けてもらう」立場から「助ける」立場へ意識が180度変わったことは私の中での一番の成長です。

藤井 梓穂さん  
法学部法律学科3年生 私立阪南大学高等学校出身

### 学生消防隊「SAFETY」 新入隊員を募集します！

対象：1・2・3年生  
※公務員（消防・警察・行政）志望者はもちろん、民間企業志望者も応募可能です

- 今年度隊員定員数：70名  
(各学年定員約25名募集)
- 応募者多数の場合は選抜（面接）を行います
- 申し込み締切：4/14（金）

#### 【隊員の特典】

- ・活動実績に応じて活動ポイントを付与
- ・既定のポイントをクリアすると「八尾市消防ボランティア活動認証状」を交付
- ・学生の自己PR作成や公務員採用試験の受験にあたって当該証明書を有効に活用できます！

#### 【2016年度活動内容】

- ・普通救命講習の受講
- ・八尾市消防本部や地域と連携した防災活動への参加
- ・大学の消防設備点検の立入検査の見学
- ・出初式参加 等

#### 【説明会】

日時：4/10（月）・11（火）12:20～12:50  
場所：花岡キャンパス クロノス3F、  
八尾駅前キャンパス3F 多目的室

#### 【第1回訓練：防災講演・災害訓練】

4/29（土）@花岡キャンパス

#### 【申込み・問合せ】

八尾駅前キャンパス3階キャリアセンター  
Tel:072-920-4713

## 海外プロジェクト グローバルキャリア体験レポート

### 《ヨーロッパ》 海外インターンシップ (ドイツ・フランス・イタリア)

靴の流行の火付け役・バイヤーを体験  
パリジェンヌのおしゃれの原点を見つめる

2月8日～2月17日の期間、婦人靴インポートや製造を行っている(株)ハヤシゴのご協力により、法学部の2年生と1年生各1名、計2名の学生が海外インターンシップとしてヨーロッパでの靴の買い付けに随行しました。まず、ドイツに入国しローゼンハイムのGabor社を訪問し、製造見学と市内のマーケットリサーチを行いました。次の訪問地フランス・パリでは、街中のリサーチやデパート見学、そして美術館をめぐり、色彩感覚や芸術の素晴らしさに圧倒されるばかりでした。ヨーロッパの雰囲気にも慣れ、イタリア・ミラノに移動し「MICAM展」、「MIPEL展」という2大国際靴・皮製品見本市でも、買い物や取引されている現場に随行。日本でも売れる商品の探索も行い、ドイツ、フランス、イタリア、そして日本においての接客の違いや独特な取引スタイルを目の当たりにしました。こうして国際見本市での活動や街中でのマーケティングリサーチを通じてヨーロッパの文化を感じることができ、異文化理解を深める貴重な経験となりました。



### 《東南アジア》 グローバルキャリア体験 INベトナム

熱気と勢いに満ちたベトナム  
発展目覚ましい現場の空気を体感

現在、国民平均年齢約30歳と若い世代が多く活躍するベトナム。経済成長率6.1%と目覚ましい発展を見せるこの国に、3月1日～3月8日まで1～3年生の男女10名が訪れ、ベトナムに進出する日系企業9社を視察しました。このグローバルキャリア体験は、株式会社伸明、カンエイ産業株式会社、テクノグローバル株式会社と大阪市の株式会社ソルテック工業といったベトナムへ進出する八尾市の企業の協力を得て実現したプログラムです。学生らは、まずベトナムの首都・ハノイを訪れると、上記企業の現地子会社を視察。広大な工場、大勢の人員に圧倒されながらも、企業担当者との話し合いでは活発な質疑応答が行われました。その後もホーチミンで3社を訪問し、モノづくりへの考え方や思いを伺ったり、現地担当者から従業員600人規模への成長の経緯や業務内容を聞いたり。学生らはこの8日間の体験を通して、異文化社会で成長する企業の姿に刺激を受け、自らの学生生活のあり方や将来の進路について考え直す契機を得ました。



## My Motto 私の座右の銘



### 「失敗することを恐れるよりも、 真剣でないことを恐れたい」

関西学院大学大学院商学研究科 博士（商学）

引地 夏奈子  
経済学部経営学科 准教授

パナソニックの創始者、松下幸之助の言葉です。日々の生活の中でも、仕事においても、様々な場面で迷うことや選択を迫られることがあります。自分なりに悩み、真剣に考え、真正面から向き合って出した結論や起こした行動であれば、たとえ失敗したとしても後悔にはつながりません。失敗とは、自分の思った結果に

ならなかった時、そこで諦めるから失敗なのであり、その結果をしっかりと受け止め、次の目標に向かうことができるのです。それは失敗ではなく、次への糧になります。みなさんも、失敗を恐れず、何事にも真剣に、多くのチャレンジをして下さい。